



社協だより

ほほえみ

No.75

2024年5月1日

- P2・3 ■ 令和6年度 予算・事業計画
- P4 ■ 新入学生へ祝い品の贈呈
- P5 ■ 炊き出し訓練 ～和水町防災避難訓練～
- P6 ■ 生活支援サービス なごみのわ
- P7 ■ 子育て支援サポーター養成講座
受講生募集
- P8 ■ 香典返し・善意寄付

発行／社会福祉法人 和水町社会福祉協議会
TEL 0968-34-2366・0968-34-2390



この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金により発行されています。

事業計画

「基本方針」

社会福祉協議会は、社会福祉法において「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」と明記されています。地域住民を会員とする社会福祉法人として、地域住民が直面している地域福祉の課題や問題の解決に取り組み、「みんなで助け合い 安心・安全に暮らしていける福祉のまち」の実現を目指します。

第3期地域福祉活動計画に則り、職員自ら地域に出向いて（アウトリーチ）地域住民の意見・要望等を取り入れ、その中で地域または個人が抱える課題や問題を発見し、その解決に向けて地域住民、ボランティア、民生委員・児童委員、行政、関係団体等の多業種協働による支援を推進します。

在宅福祉の分野では、介護保険事業・障がい者自立支援事業の効果的なサービスが提供できるように取り組んでいきます。

今後も、社会福祉協議会の意義・役割について十分に検討し、新たな事業創出も視野にふまえて、既存事業の見直しや課題の整理を行い、地域福祉の更なる充実と向上に向けて、社協職員としての資質向上に努めると共に、職務への自覚と責任を持って取り組んでいきます。

1. 社協運営に関すること

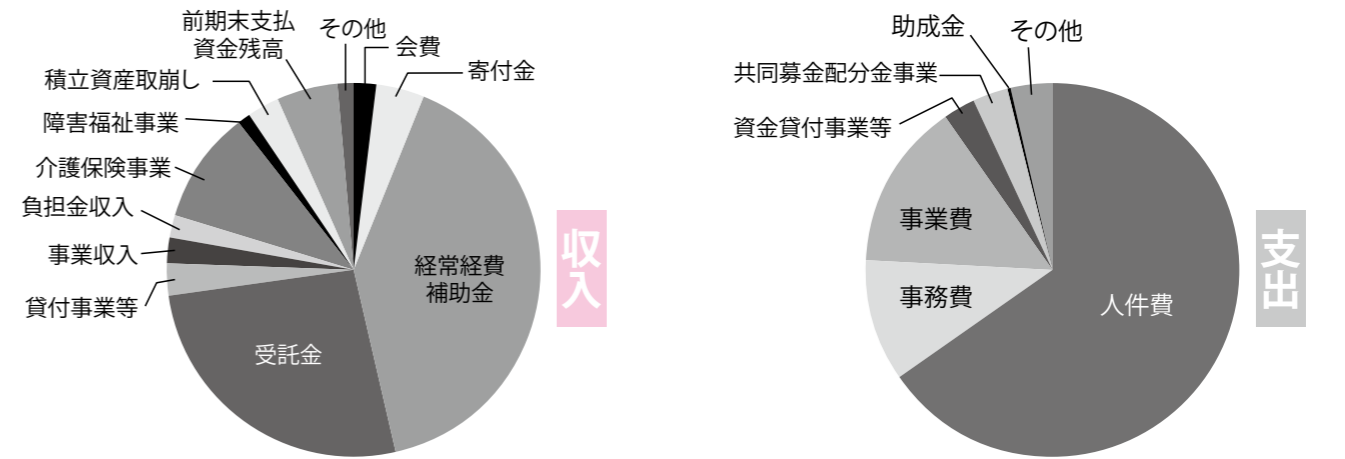
- ・理事会・評議員会等の開催
- ・各種監査及び会計指導
- ・役職員等の資質向上
- ・指定管理施設の管理運営（令和6年～令和8年）

2. 社協事業に関すること

- (1) 住民への情報提供のために
 - ・社協広報誌の発行
 - ・ホームページの運営
- (2) 住民が必要とするサービスを企画・開発するために
 - ・ひとり暮らし・高齢者世帯の実態把握
 - ・福祉座談会の開催
 - ・座談会後の継続支援
 - ・困りごとやニーズ調査
- (3) 住民が在宅で安心して暮らす事ができるために
 - ・居宅介護支援事業
 - ・訪問介護事業
 - ・訪問型予防事業
 - ・居宅介護・重度訪問介護事業
 - ・通所型サービスB事業
 - ・ふれあいいきいきサロン事業
 - ・男性料理教室事業
 - ・男性の集いの場づくり
 - ・介護予防教室運営事業
 - ・食の自立支援事業
 - ・地域福祉権利擁護事業
 - ・まごころ安心預かりサービス事業
 - ・法人後見化事業（新規）
 - ・福祉講演会
 - ・福祉・介護の相談会
 - ・福祉機器貸出事業
- (4) 住民の暮らしの相談・苦情受付のため
 - ・法律相談事業
 - ・補聴器相談事業
 - ・生活困窮者自立支援事業
 - ・福祉金庫貸付
 - ・緊急時における食糧等の提供
 - ・生活福祉資金の受付・相談
 - ・高額療養費の受付・相談
 - ・苦情相談の受入体制
 - ・メールやアンケートによる意見収集
- (5) 住民や団体の活動推進のため
 - ・物品貸出事業
 - ・公用車貸出事業（新規）
 - ・関係団体への協力・支援
 - ・民生委員児童委員協議会
 - ・老人クラブ連合会
 - ・荒玉郡社会福祉協議会連合会
- (6) 子どもたちの健全育成及び次世代育成のために
 - ・児童デイサービス事業
 - ・新入学生お祝い品贈呈事業（新規）
 - ・福祉体験学習
 - ・ボランティア福祉協力校助成金事業
 - ・実習生受入体制の整備
- (7) 事業費募集のために
 - ・寄付金（一般・香典返し）の受付
 - ・日本赤十字社会費募集
 - ・社協会費募集
 - ・赤い羽根共同募金運動
- (8) ボランティア活動の推進・啓発のために
 - ・ボランティア連絡協議会への支援
 - ・ボランティア活動費助成事業
 - ・サロン・ボランティア養成講習会
 - ・中学生ワークキャンプ事業
 - ・ボランティアに関する相談受付や活動紹介などのマッチング
- (9) 住民がお互いに支え合うふれあいのまちづくりのために
 - ・ひとり暮らしふれあい招待会
 - ・出前講座などの職員派遣
 - ・世代間交流事業
 - ・生活支援体制整備事業
 - ・関係団体との協働体制の構築
 - ・生活支援サービス「なごみのわ」
 - ・見守りネットワーク会議の推進
 - ・ファミリーサポートセンター事業
 - ・eスポーツ事業（新規）
- (10) 防犯・防災のために
 - ・町防災訓練での連携・協力
 - ・地域での防災訓練への支援
 - ・災害時応援協定
 - ・災害ボランティアセンター設置運営訓練
 - ・事業継続管理（BCM）の実施（新規）

令和6年度 和水町社会福祉協議会

予算



(単位：千円)

収入	勘定科目	金額	摘要
	会費	1,500	社協会費（一般・賛助・特別会員）
	寄付金	2,900	一般寄付金、香典返しなど
	経常経費補助金	28,486	町補助金、共同募金配分金
	受託金	18,660	福祉センター指定管理費、県社協受託金・町受託事業
	貸付事業等	2,000	高額療養費貸付資金、福祉金庫貸付
	事業収入	1,685	各事業への参加費、利用料
	負担金収入	1,242	生活困窮者等自立相談支援事業負担金
	介護保険事業	7,038	介護保険事業
	障害福祉事業	752	障害福祉サービス事業
	積立資産取崩し	2,000	積立の取崩し
	前期末支払資金残高	3,590	前年度繰越金
	その他	939	預金利息など
合計	70,792		

(単位：千円)

支出	勘定科目	金額	摘要
	人件費	46,307	職員人件費
	事務費	7,408	法人運営に係る費用（会議費、通信運搬費、電気代、事務消耗品、賃借料等）
	事業費	10,302	地域福祉事業に係る費用（配食サービス、心配ごと相談、法律相談、男性料理教室等）
	資金貸付事業等	2,000	高額療養費貸付資金、福祉金庫貸付
	共同募金配分金事業	2,100	老人福祉活動費（ひとり暮らしふれあい招待会、老人会、ボランティア団体育成等） 児童青少年福祉活動費（ワークキャンプ、児童デイ、体験学習等） ボランティア活動育成費（団体育成事業、町ボラ連への助成、介護予防教室支援等） 総合福祉的事業（広報誌、福祉まつり、小地域ネットワーク活動費）
	助成金	265	各種福祉団体等への助成
	その他	2,410	退職共済預け金、予備費
	合計	70,792	

和水町防災避難訓練 炊き出し訓練開催!!



3月17日の和水町防災避難訓練において、原口区の地区防災組織炊き出し班の方と協力し、炊き出し訓練を実施しました。

熱に強い、ハイゼックス袋という特殊な袋に米と水を入れ、大きな炊き出し釜で一気に炊き上げました。

ほとんどの皆さんが初めて体験されましたが、袋詰めもすぐに慣れられて、あっという間に200名分のご飯が出来上がり、温めたレトルトカレーと共に、参加した方に振る舞いました。

全国各地で災害が発生しており、社会福祉協議会では、今後も防災訓練や炊き出し訓練などの周知啓発に努めていきます。



ボランティア活動保険の紹介

地域住民の皆さんがボランティア活動を安心して行っていただくために、社会福祉協議会では、和水町ボランティアセンターに登録されているボランティア・ボランティアグループ・団体を対象に保険の加入をお勧めしています。

また、被災地で災害ボランティア活動を検討されている方も対象となりますので、事前登録をお勧めします。

補償期間は、加入日から翌年3月31日まで。

基本プラン	350円
天災・地震補償プラン	500円

莓の寄付を頂きました



JA玉名北部集荷センターいちご部会（北原総一郎部会長）より、三加和地区の80歳以上のひとり暮らしの方へ、いちごの寄付を頂きました。

また、町内3施設（きくすい荘・和楽荘・清風苑）にも寄付され、地元の甘いいちごを堪能していただきました。



小学校新入学生へ祝い品の贈呈

令和6年度の小学校新入学生62名（菊水小38名、三加和小24名）へ、和水町共同募金委員会から、祝い品として【生活科バッグ】を贈呈しました。

これは、昨年度地域の皆さまからご協力いただきました、赤い羽根共同募金の地域配分金を活用したもので、次世代を担う子どもたちに向けた新規事業となります。

生活科バッグは、社会科見学や野外活動などの学校行事において、6年間活用できるものとなっています。

新入学生の皆さんの学校生活が、楽しいものとなってもらえるよう願っています。



ボランティア活動費助成事業

和水町社会福祉協議会では、ボランティア活動振興のため、ボランティア活動費助成事業を行っています。

和水町内で実施されるボランティア活動を支援する助成となっています。

内容は下記のとおりとなっていますが、助成は審査の上決定となりますので、申請を希望される団体は、社会福祉協議会（0968-34-2366）へご相談ください。

- 対象団体** (1) 和水町で活動するボランティア団体
(2) 概ね5名以上の団体
- 対象活動** (1) 子どもの健全育成
(2) 高齢者や障がい者に関する取組
(3) まちづくりに関する取組
(4) その他本会が認める取組
- 助成金額** 上限20,000円
- 募集期間** 令和6年5月1日～令和6年5月31日
- 募集数** 10団体

美化活動の様子



たまなファミリーサポートセンター 子育て支援サポーター養成講座 受講者募集



玉名市・玉東町・南関町・和水町の1市3町では、玉名圏域定住自立圏共生ビジョンの一環として、ファミリーサポートセンターの連携及び人材育成があり、本町在住の方でも、他市町の講座を受けることができます。

サポーター養成講座とは、子育て世帯を支援するために、保育園や学童への送迎や子どもを一時的に預かるための講座で、特別な資格などは必要ありませんが、全項目24時間の受講が必要です。心身共に健康で子育てに理解と熱意がある方お待ちしております。

なお、参加を希望される方は、準備の都合上、**6月14日(金)まで**に、和水町社会福祉協議会(TEL 0968-34-2366)にお申し込みください。

◆**対象**：子育て支援に関心があり講座をすべて受講できる方

◆**会場**：玉名市福祉センター

7月1日(月)	
10:15~10:30	開講式 オリエンテーション
10:30~11:30	玉名市の状況/ファミリーサポートとは
13:00~15:00	保育の心

7月2日(火)	
10:00~12:00	幼児安全法
13:00~15:00	子どもの身体の発育と病気

7月4日(木)	
10:00~12:00	心の発達とその問題①
13:00~15:00	心の発達とその問題②

7月8日(月)	
10:00~12:00	食育
13:00~14:00	栄養と食生活
14:10~16:10	小児看護の基礎知識

7月10日(水)	
10:00~12:00	小児看護の基礎知識(歯の衛生指導)
13:00~15:00	子どもの世話と遊び

7月12日(金)	
10:00~12:00	コミュニケーションの取り方
13:00~15:00	活動を円滑に進めるために / 閉講式

ファミサポ会員交流会・会員合同研修会開催



1月20日(土)のファミサポ会員交流会は、熊本県環境センターより環境指導員の方をお招きし、環境講話とUVビーズストラップの製作体験を実施しました。講話では、ごみ問題や地球温暖化などについてのわかり易い説明があり、皆さん真剣に聴講されていました。体験では、お子様たちが小さい手で一生懸命ひもにビーズを通していき、かわいらしいストラップを完成させました。

次に、3月9日(土)の会員合同研修会は、熊本県職員の方を講師に、「親の学び、支援者の学び」をテーマに講座を行っていただきました。上手なほめ方、しかり方の工夫について、プラスの表現での言い換えや、Iメッセージ(「私」を主語にした言い方)、Youメッセージ(「あなた」を主語にした言い方)での言い換え、特定の見方や考え方ではなく多様な見方や考え方をする努力が必要等のアドバイスがあり、参加者からは「すぐに子育てにいかせる内容で、講座を受けてとても良かったです。」等の感想がありました。



生活支援サービス

なごみのわ

- ① 新規協力会員養成講座
- ② 協力会員フォローアップ講座



ゴミ出しや話し相手など、地域のちょっとした困りごとを支援するサービス「なごみのわ」の新規協力会員養成講座と、既存会員向けのフォローアップ講座を2月2日に開催しました。

養成講座は認知症についての講義やこれまでの活動報告など、9名受講いただき、8名の方が新規会員として登録いただきました。また、フォローアップ講座は日赤熊本県支部より講師をお招きし、健康生活支援講習を実施しました。

住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けられるよう、支援いただく協力会員の増強に努め、ますます活動を充実させていきたいと考えています。



スマホ講座開催!!

和水町福祉センターにおいて、スマホ講座(基礎編・応用編)を開催しました。

(株)ソフトバンクから、講師としてスマホアドバイザーの方に来ていただき、スマホの触り方といった基礎から、LINEや防災アプリの使い方などの応用編まで、16名の方に教えていただきました。

家族や友人との連絡手段としてだけでなく、動画視聴や買い物、ニュースなどの情報まで、今やスマホは生活に欠かせないものとなっています。

今年度も定期的開催をする予定です。ぜひご参加ください。



寄付御礼

次の方々より香典返しに代えて多額の寄附を頂きました。ご報告と共に、ご逝去された方々のご冥福をお祈り申し上げます。

R 5年12月20日～R 6年4月19日 受付分

寄付者	物故者	行政区(住所)
笹 淵 賢 吾 様	亡母) 澤子	中吉地
藤 本 義 臣 様	亡父) 修	大津町
淵 上 猪 一 郎 様	亡妻) 和子	上 岩
内 野 己 伸 様	亡妻) 晴美	上吉地
前 川 克 子 様	亡夫) 昭八郎	用 木
前 淵 美 穂 子 様	亡母) 典子	用 木
吉 永 菊 子 様	亡母) 高木民子	榎 原
石 原 貴 代 美 様	亡義母) ヨシエ	大江田
藤 原 良 一 様	亡妻) 弘代	山十町
宮 野 純 男 様	亡妻) 久江	久米野
松 尾 誠 士 様	亡妻) ヒデヨ	板楠西
前 田 秀 文 様	亡義母) 池上ツヤ子	中十町
山 口 律 子 様	亡夫) 喬	馬 場
高 木 玲 様	亡夫) 龍典	上大田黒
松 葉 豊 美 様	亡夫) 保徳	本 村
橋 本 徹 也 様	亡母) ハルヨ	西 口
牛 島 玲 仕 様	亡姉) 絹代	住 吉
前 川 洋 一 様	亡妹) 千枝子	福岡県
前 田 信 司 様	亡母) サチヨ	用 木
杉 本 和 彰 様	亡子) 真美	萩 原
入 江 リ ツ 子 様	亡夫) 治高	中和仁
竹 下 庄 太 郎 様	亡母) 孝子	山十町
横 尾 竜 大 様	亡父) 隆人	山鹿市
松 尾 晃 様	亡母) 春子	玉東町
坂 本 と し 子 様	亡義父) 昌弘	長小田
有 働 政 利 様	亡父) 利夫	菊池市
古 閑 清 子 様	亡夫) 修一	下大田黒

編集後記

新年度に入り、新たな役割や業務の変更に伴い、覚える事が沢山あり慌ただしい日々を過ごしています。これまでの流れを受け継ぎ、新しい事を加える事で職員個人の資質向上はもちろん事務所全体としても、進化していくものだと思っています。多様化する社会に遅れを取らないように、日々取り組んでいきたいと思っています。(石原)

善意寄付

下記の方々より、善意の寄附をいただき、ありがとうございました。寄附については、社協事業に活用させていただきます

◇金一封◇

- ◆池上 ツヤ子 様 (中十町)
- ◆匿名 2件
- ◆山太郎祭実行委員会 様
- ◆三加和中学校企業体験 様

三加和中学校では、授業の一環で起業体験を実施され、町内外の企業と協力し、商品開発したオリジナル商品を、文化発表会及び金栗マラソン大会で販売されました。

また、起業された2社から、商品販売で得た収益を和水町のために役立ててほしいという思いから、社会福祉協議会へ寄付をいただきました。

商品名	会社名	協力事業所
コロッケ	ハシモトカンパニー 代表 橋本凜生	つる肉や 和水町
からあげ	まんぷく亭 代表 緒方真優	ジョーのからあげ 玉名市



◇物 品◇

【お米】

- ◆匿名 (町内の方) (30kg) × 4 袋
- ◆江上幸一 様 (30kg) × 5 袋

法律相談・補聴器相談

	5月	6月	7月
法律相談	5月24日(金) 10:00~12:00 福祉センター 司法書士 1名 《要予約!》	6月28日(金) 10:00~12:00 福祉センター 司法書士 1名 《要予約!》	7月26日(金) 10:00~12:00 福祉センター 司法書士 1名 《要予約!》
補聴器相談	5月17日(金) 9:00~11:00 福祉センター (有)熊本補聴器 センター玉名対応		